

**WE
CHANGE
THE WORLD**

学校でできる国際協力

**FREE THE
CHILDREN**

FOR TEACHERS

先生のみなさまへ

『子どもや若者は助けられるだけの存在ではなく、
自身が変化を起こす担い手である』

私たちは活動を通して、子どもが声をあげることで、おとなや社会、
世界をも動かしてきた事例をたくさんみてきました。

そう、子どもには世界を変える力があるのです。

しかし、その力を伸ばすには、周りにいるおとなや社会のサポートが不可欠です。

私たちは子どもが国際問題や国内の社会問題に気づき、それにどう向き合い、どう取組んでいくことができるのかを考える様々なワークショップを開発し、子どもを対象にしたリーダーシップトレーニングを18年以上行ってきました。

学校の先生と一緒に、子どもをエンパワーメントしたい。

日本青少年研究所などが行った「高校生の心と体の健康に関する調査（2011年）」によると、「自分が参加しても社会は変わらない」と感じている日本の高校生は68.3%にのぼると報告されており、社会課題や自己に対して無関心や無力感を抱いていることがわかります。

一方で、同研究所が2014年に行った調査では、高校生の69.8%が「現状をそのまま受け入れず、変えたいと思う」と漠然と感じていることがわかりました。

子どもたちの「思いやりの心と変えたい気持ち」を引き出し、「自分が参加しても社会は変わらない」という考えから子どもを解放し、子どもが課題に向けてアクションを起こす環境をつくるため、私たちは今までの経験を活かし、より多くの子どもが国内外の問題に気づき、自分が参加することで社会は変えられることを伝え、自他の権利を大切に、思いやりをもって問題に取り組むアクターになる環境作りに学校の先生方と一緒に取組んでいければと願っています。

もくじ

02	フリー・ザ・チルドレンについて
05	授業・ワークショップ・・・コンテンツ紹介
07	授業・ワークショップ・・・これまでの実績
08	講演会
09	教材・書籍・DVDのご紹介
11	生徒の「もっと国際協力したい！」をサポートする
14	FAX 専用お申込書

WE CHANGE THE WORLD 学校でできること



フリー・ザ・チルドレンについて

フリー・ザ・チルドレン・ジャパン(以下FTCJ)は、1995年に当時12歳のクレイグ・キールバーガー 少年によって貧困や搾取などの過酷な環境から子どもを解放することを目的にカナダで設立された「Free The Children」を母体に1999年から日本で活動を始めた国際協力団体です。

きっかけは新聞記事

1995年、カナダに住む12歳のクレイグは学校に行く前にマンガを読もうと新聞を手にしたところ、ある記事に目が留まりました。

「児童労働の廃絶を訴えていた12歳のパキスタン少年、射殺！」

～パキスタン人のイクバル・マシーは、とても貧しい家庭の出身で4歳のとき、両親から引き離され絨毯工場に売られてしまった。1日10時間以上の労働を強いられていたが、工場から脱出できNGOの助けで児童労働反対をうったえる活動家として世界をまわっていたが、母国に戻った時何者かによって殺害された。～

クレイグは、同じ年のイクバルの死や、世界に奴隷のように働かされている子どもがいることにショックを受け、同じ子どもの問題なら、自分たち子どもで取組もうと「Free The Children (FTC)」を設立しました。

その後クレイグは実際に児童労働の現状を学ぶため中学1年生になると南アジア5カ国をまわる50日間の旅に出ました。そこで、マザーテレサやノーベル平和賞を受賞したカイラシュ氏に出会いました。

そして、クレイグの創造をはるかに超える過酷な環境で働くたくさんの子どものことを世界に伝えるため、カナダに帰国後、旅の体験記を本にまとめたりスピーチをして世界をまわるようになりました。

現在、FTCはカイラシュ氏、マララ氏をはじめ多くの著名人と共に、全ての子どもが教育を受けられるように一緒に活動しています。フリー・ザ・チルドレンの活動は世界的に認められ、創設者のクレイグは今まで3回ノーベル平和賞にノミネートされています。



日本で活動スタート

1997年、アメリカのNGOに所属していた中島早苗(現代表)がFTCとクレイグの活動を知り団体の理念に賛同し日本に紹介しようと帰国後1999年に日本支部を設立しました。以後、日本の子どもたちが活動に参加するようになり、現在1,000人以上の子どもたちがメンバーとなって国際協力や国内の子どもを巡る課題に取り組んでいます。

その活動は様々で、児童労働を伝えるためにウォークを企画し実施する子どもたち、開発途上国の働く子どもの状況を学び、支援するため手作り雑貨やお菓子を販売しその売り上げを世界の子どもの教育事業に寄付をしたり、世界の貧困問題を伝える動画を作って配信したり、支援先を訪問する海外ボランティアツアーに参加したり、いじめの問題に取り組むスピーチをして子どもの権利についてうたえたり、自分の特技を活かして社会問題を解決するためのアクションを起こしています。

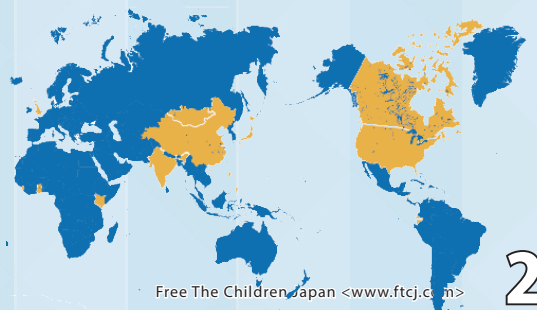


活動地域

カナダで12歳の一人の少年から始まった活動は、アメリカ、ヨーロッパ、中南米、アジアへと広がり、今では世界45カ国に広がっています。全世界で230万人の子どもが活動へ参加しています。

活動地域

カナダ、アメリカ、日本、イギリス、中国、インド、シエラレオネ、ガーナ、ハイチ、エクアドル、ニカラグア、フィリピン、モンゴル など



-Mission

私たちは、ふたつの「Free」の実現をめざします。

- ① 貧困や児童労働から子どもを Free (解放) にする。
- ② 「子どもは無力だ」という考えから子どもを Free (解放) にする。

-Message



フリー・ザ・チルドレンの創設者・代表
クレイグ・キールバーガー
(Craig Kielburger) ※写真右

子どもが何か社会的な活動を始めようとしたとき、まだ早すぎると言って止めるようなことはありませんか。そんな時は、どうか止めないでください。社会を素直にみられる子どもだからこそ、できることが沢山あるのです。

12歳で団体を設立して以来、これまで世界中の子どもたちと共に活動を続け、650校以上の学校を建て、5万5千人以上の子どもたちが教育の機会を持てるようになりました。子どもたちには社会を変え、未来をつくる力があります。その芽を伸ばすのは周りの大人たちです。

1982年生まれ。カナダ・オンタリオ出身。トロント大学で平和紛争学を習得後、ヨーク大学シュールリック・ビジネススクールにてエグゼクティブMBAコースを史上最年少で終了。2006年世界の子ども賞、2007年すぐれた社会起業家に送られるスコールアワードを受賞。過去3回、ノーベル平和賞にノミネート。



フリー・ザ・チルドレン・ジャパン 代表理事
中島 早苗 (なかじま さなえ) ※写真左

フリー・ザ・チルドレンの理念の「子どもは助けられるだけの存在ではなく、自身が変化を起こす担い手である。」という言葉に、私が子どもの頃に出会っていればなあ、と思うことしばしば。

日本では和を重んじるばかりに、時として、問題に対して声を上げることが憚られます。私自身、中高生の頃、自分が社会問題に取組めるなんて思いも寄っていませんでした。しかし、活動を通じて多くの日本の子どもが、世界の子どものために立ち上がる姿を見るにつけ、子どもの持つ力に感動しています。子どもの力を多くの方たちと育てていけたら嬉しいです。

学生時代に環境保護団体に所属し活動を開始したことから社会問題に取組むようになる。アパレル会社勤務を経て1997年に渡米しNGOでのインターン中にFree The Childrenを知り理念に共感し、日本に紹介しようと帰国後の1999年に日本支部を設立。以後、活動に従事。訳書に「キッズパワーが世界を変える」、著書に「フィリピンの少女ピア」(共に大月書店刊)。2007年国際ソロプチミストより「青少年指導者育成賞」受賞。

- 世界と日本での活動

世界では
230万人以上の若者が活動に参加

日本では延べ
20,000人以上の若者が活動に参加

55,000人以上の途上国の子どもに
教育や医療サービスを提供

10冊以上の日本の教科書・教材に
フリー・ザ・チルドレンの活動が掲載

-メディア掲載

◇教科書

中学英語教科書 ONE WORLD English course
中学公民教科書ビジュアル公民
中学公民教科書日本の社会と世界
高校英語教科書 UNICORN
高校英語教科書 English Now !
高校家庭科教科書生活学 Navi
その他たくさんの教科書にも過去掲載いただきました。

◇メディア

NHK『首都圏ネットワーク』、『おはよう日本』
日本テレビ『世界一受けたい授業』
毎日新聞、毎日小学生新聞
朝日新聞、朝日小学生新聞、朝日中高生新聞
読売新聞、読売ジュニアプレス
東京新聞
クロワッサン
アエラ
English Journal
J-WAVE 他多数

- 海外支援

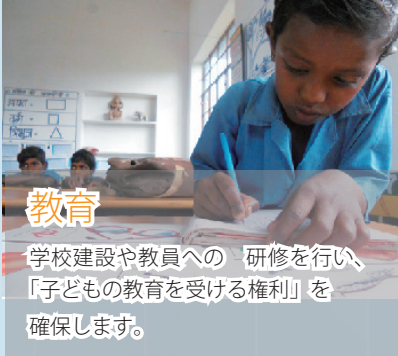
●世界の子どもの現状

世界には貧しさのため学校にも行けず危険な環境で長時間働いたり、心や体に害がある仕事をしている子どもが1億6,800万人いるといわれています。彼らの多くは学校に行けていません。



●フリー・ザ・チルドレンの支援

支援地域の人々とともに、子どもにとって最良なことを1番に考え、包括的に支援を行う「村の自立を応援しよう！」プログラムに取り組み、貧困地域の村々が貧困から抜け出し自立するようサポートを行っています。プログラムはフィリピン、モンゴル、インド、ケニア、シエラレオネ、ガーナ、ハイチ、エクアドル、ニカラグア、中国農村部で実施しています。



教育
学校建設や教員への研修を行い、「子どもの教育を受ける権利」を確保します。



水と衛生
井戸や水源を確保し、子どもとその家族がきれいな水を得られるよう支援します。



保健
保健所を設置し、子どもとその家族の健康状態の改善をします。



収入確保
子どもが働かなくてもよい環境整備として、おとなの収入が持続的に増えるよう支援をします。



農業と食料
持続的に農業を行えるよう、水源管理、植林、農業研修などを実施したり、環境に負担なく作物を収穫できるよう支援します。

- 国内支援

●活動する日本の子どもたち

設立以来、延べ2万人以上の日本の子どもたちが国際協力の活動に参加してきました。毎年たくさんの子どもたちから問い合わせがあり、活動の輪は年々広がっています。

●フリー・ザ・チルドレンの支援

様々なプログラムを通じて、日本の子どもたちの「やってみたい」という気持ちを引き出し、社会問題を解決するために実際に行動を起こすことのできる子どもを育てています。

私から世界を変える。3つのステップ

- 1** 気づきやきっかけの場を作っています。
気づく これまで日本で **800校** 以上の学校で出張授業を実施。
- 2** 社会問題に対しアクションを起こすために必要なスキルを学ぶ場を提供しています。
学ぶ これまで **2,000人** 以上の子どもたちがワークショップやキャンプに参加。
- 3** 子どもができるアクションを提案します。
やってみる 毎年、子どもメンバー **600人** 以上、ユースメンバー **400人** 以上が活動中。



1 授業・ワークショップ

世界の子どもを取り巻く状況や、いじめ、差別など国内外の社会問題をより身近に感じ、生徒の皆さんが自分にできることを考え、**行動するきっかけ**を提供します。対象やご要望にあわせて下の4つのコンテンツから授業を設計いたします。

FTCJ 独自の4つのコンテンツ

① 社会問題を知り、身近に感じることができる

国際問題（貧困、児童労働、南北格差、紛争）や国内問題（いじめ、偏見、貧困）、子どもの権利について考えるワークショップやスピーチを行います。世界と日本のつながりに子ども自身が気づくよう導きます。

② チームで協力する手法（チームビルディング）を学べる

ゲームやワークショップを通じて各自のリーダースタイルを導き出し、コミュニケーション能力を高めチームで協力する楽しさを実感できるようにします。協力し合うことの楽しさや、大切さに気づき、進んでコミュニケーションが取れるよう子どもの力を引き出します。

③ Action につなげるきっかけを作る

問題を伝えるコツ、好きなことと社会問題を結び付けてアクションを起こす手法をワークショップで伝えます。具体的な活動事例も紹介して、身近なイメージが湧くように設計しています。

④ 英語が楽しくなる！

英語の教材を使って社会問題を学ぶワークショップをしたり、英語でディスカッションを行い、国際感覚が身につくようサポートをします。「英語ができれば世界と繋がれて楽しい！」を実感できるようお手伝いすることで英語が好きになるきっかけを提供します。



お申込みから開催までの流れ

- ① FTCJweb サイトもしくは末尾の申込用紙から、日時やご希望のテーマなどをお知らせください。
※費用はご相談ください。
 - ② 担当者が3営業日以内にご返信をさせていただきます。日時等を決定いたします。
 - ③ 当日伺わせていただく FTCJ ファシリテーターより詳細内容や準備について相談させていただきます。
 - ④ 当日30分前までに会場に到着し、会場準備等をさせていただきます、授業を実施いたします。
- ※2時間以上取り入れていただいたり、毎年継続して実施すると、より高い効果が得られます。



好評なワークショップのご紹介！

※授業の目的、対象者、所要時間に応じて、これらを取り入れた授業内容を設計しております。
※動画やゲーム形式を取り入れたインタラクティブな内容を心がけ、FTC創設者・クレイグの話なども取り入れ、子どもが知る・活動することにフォーカスしています。

人権教育の授業にもおすすめ！

社会問題を知ろうシリーズ

・ 児童労働シミュレーションカードゲーム

児童労働者の人生をもとに作られた児童労働者の一生を体験することができるカードゲーム。子どもの権利条約も学べます。

・ ワールドマップ

世界の五大洲（アジア・ヨーロッパ・北米・南米・アフリカ）にどのように「人口・お金・消費されている食物」が拡散されているのかを予想で作成し、現実との比較を視覚的に理解できるアクティビティ

・ 共感スター

参加者が、「他の人の気持ち」を体験する事が目的です。いじめられていたり、社会的に拒絶されていたりしている人たちの現実を個人的に受け取り、共感し、身近に感じる事によって、自分と無関係ではなく、自分にも出来る事があると、気付く事が最終目的です。また、最終的には児童労働者の気持ちも共感する事が出来ます。

・ コミュニティ・マップ

自分が住んでいるコミュニティにどのような問題や良いところがあるのかを再発見するアクティビティ

・ ラベルゲーム

偏見と差別を体験しながら、偏見と差別がどこからくるのか、どうしていくのが良いかを考えるアクティビティ

・ 児童労働脱出ゲーム

インドの児童労働の現状を、体を動かす9つのアクティビティを通して学べるゲーム

チームビルディングシリーズ

・ 見ざる・言わざる・触らず

出来ること、出来ないことが異なる3つのグループが協力して問題を見極め解決していくゲーム

・ シュータワー

ひもやロープを使って他人との触れ合いに対する自分の許容範囲を知り、また協力して問題を解決するゲーム

・ ナンバータッチ

プレッシャーの下で効果的に作戦を立て、コミュニケーションをとることが出来るようになる数字と時間のゲーム

Action シリーズ

・ 線を超える

自分の考えや価値観、背景を再確認し、ほかの人との違いについて考えるアクティビティ

・ スポット・ライト

自分がどのような殻に包まれているのかについて気付き、それを剥がす事に挑戦し、自分が本当はどういう人なのかを理解し、「自分」の深い部分から生きていく事が出来るようになるアクティビティ

・ 火の中へ

今の時点で何が自分の人生で一番大切なのか気づき、自身の価値観がなりたい事ややりたい事へちゃんと影響を与えているのかを確認し、理想と現実のアクションを近付けるためには変化が必要なのかどうかを気づくことが出来るアクティビティ

・ Gift + Issues = Change

自分が好きなこと・得意なこと、興味のある問題を組み合わせ、変化（ボランティア活動や啓発活動）を探るアクティビティ

・ 錬金術師

「幸せの秘訣」について包括的に目的を達成するにはどうするかを考えるアクティビティ

・ スピーチ・テクニク

スピーチをする時に使える言葉のテクニクと、アクションのテクニク、声や息の使い方、姿勢などを実践的な形でお伝えます。

自分を知る

スキルアップ

これまでの実績

全国で年間 80 か所以上、約 3,000 人の子どもたちに対してワークショップや出張講演を行っています。総合的な学習、社会、道徳、英語の授業で実施させていただいています。



◆授業を行った先生の声

FTCJ の講演会やワークショップは、児童労働問題・人権問題などについて、身近に感じられるような工夫や仕掛けがたくさんあります。そして、**生徒の心にある「助けたい」「何とかしたい」という気持ちを行動へと「change」**させていきます。(立命館守山高等学校 八反 和之 先生)

ワークショップを体験し、中高生は単に世界の現状を知るだけにとどまらず、自分自身にも何かができる、何かをしたい！という熱い気持ちをもつことができました。**知識を行動につなげる大きなきっかけ**をいただいたワークショップでした。(八戸聖ウルスラ学院中学・高等学校 鳥谷部 昌子 先生)

◆授業に参加した子どもたち・おとなの声

せかいのはたらく子どもの生活がわかりました。**ぼきんとか、できることをやりたい**です。(小3)

一人が行動を起こすことでたくさんの人に伝わり、それが大きな力になることを学びました。そして、“**子どもだからこそできることがある**”という言葉が**自信になりました**。自分の好きなことをして誰かを助けることができることにびっくりしました！(中1)

自分ができることを楽しみながらやることで、深刻な問題に取り組むことができることを知りました。私は途上国の子どもたちについて誰かに話すことから始めたいです。(中3)



とても、分かり易く世界の現状や、子ども自身が取組める手法についてお話し下さり、ありがとうございました。スタッフのお話で、**勇気と希望が出ました！** ぜひ、これからもつながっていきたいと思います。(小学生の保護者対象の講演会に出席したお母様)

英語が本当に見たくないくらい嫌いだったけど、“**英語があれば世界が広がるんだ！**”と思ったら、ちょっと頑張ってみようと思いました。(高2)

◆実施例

学校名	学校法人和光学園和光小学校	東京都世田谷区立桜丘中学校	静岡県・浜松海の星高等学校
対象	6年生 2クラス 72名	6年生 2クラス 72名	進学コース高校1～3年生 75名
時間	40分×2時限	40分×2時限	50分×2時限(進路の授業)
御要望	児童労働や世界の貧困問題など、まずは世界の現状を伝え、そして世界のためにすでに活動している子どもの紹介をしてほしい。	学校に行きたくても行けない子どもたちがいることを事例に、学校へ行けることの素晴らしさを生徒に伝えてほしい。世界の子どもの現状や、世界と日本の繋がりを考えるきっかけとしたい。	授業で児童労働問題をすでに扱っており、そこに絡めた内容で、世界の現状を伝え、一人一人にできることを考える場をつくってほしい。
授業内容	①世界の現状と12歳のNGO設立物語 ②児童労働脱出ゲーム ③ユニークな募金、啓発活動の紹介 *途中休憩をはさむ	①世界の現状と12歳のNGO設立物語 ②児童労働脱出ゲーム ③ゲームの振り返り ④活動紹介：子どもに出来る事を紹介	▽1時限目 講演会 ①世界の現状や海外や日本の子どもたちが行うボランティア活動の紹介 ▽2時限目 ワークショップ ②児童労働シミュレーションゲーム ③力を合わせ問題を解決するゲーム ④自分に出来ることを考えるワーク ⑤質疑応答&アンケート

2 講演会

学校や職場、グループ等の講演会に、当団体の理事やスタッフを講師として派遣しております。
世界の貧困の中にいる子どもの状況、貧困から抜け出し自立するための取組み、子どもの自主性を重んじる活動のサポート方法、NGO/NPO 設立についてなど、様々なテーマでお話することができます。
また、記念事業として海外からゲストを招いて特別講演も実施することもあります。随時 web サイトに掲載する予定ですので、ぜひご覧ください。

◆講師プロフィール



代表 中島 早苗 (なかじま さなえ)

講演テーマ：世界の貧困下に置かれた子どもの状況、NGO としての国際協力、子どもの権利、NPO 設立、エシカル商品 (フェアトレード)

学生時代に環境保護団体に所属し活動を始めたことから社会問題に取り組むようになる。アパレル会社勤務を経て 1997 年に渡米し NGO でのインターン中にフリー・ザ・チルドレンを知り理念に共感し、日本に紹介しようと帰国後の 1999 年に日本支部を設立。以後、活動に従事。

訳書に「キッズパワーが世界を変える」、著書に「フィリピンの少女ピア」、「チャレンジ！キッズ・スピーチ」（共に大月書店刊）。2007 年国際ソロプチミストより「青少年指導者育成賞」受賞。



事務局長 原元 望 (はらもと のぞみ)

講演テーマ：子どもの自主性を重んじる活動のサポート、子どもだからできる国際協力、世界の働く子どもたちと国際支援、NGO で働くということ

高校 1 年の時よりフリー・ザ・チルドレンのメンバーとして活動を始め、高校 2 年でインドでの学校建設ボランティアツアーへの参加や、国内での様々な活動の企画運営に関わる。大学では、開発教育を学び、フィリピンの貧困地域を訪問するなどした。大学卒業後は一般企業に就職し、その後 NGO へ転職。2011 年に入団。現在は事務局長を務め、日本の子どもたちの活動のサポートを行う。2013 年「アユス NGO 新人賞」を受賞。1 児の母。



理事 出野 恵子 (いでの けいこ)

講演テーマ：世界の働く子どもの現状、学生ができる国際協力、教育現場での国際協力、子どもの権利から考える子育て

学生時代にフリー・ザ・チルドレン・ジャパンと出会い、インド支援事業チームに参加。以後、インドを始めフィリピン、カンボジア、モンゴルなどの支援先を訪ね、支援のありかたについて深く考えるようになる。卒業後はコンサルタント会社に就職しながら、理事として団体の活動に従事。団体では、在学中に教員免許を取得したこともあり教育について学んだ専門領域を活かし、国際問題を分かりやすく子どもに伝えるツールとして教材開発に携わるなどしている。2 児の母。

その他ここでご紹介していないスピーカーも多数おります。(理事や子どもメンバーなど) 詳細は WEB サイトをご覧ください。お問い合わせください。
ご連絡先メール：info@ftcj.com

◆実施した学校

これまで全国の学校などに **800 回**以上訪問しました。(一部ご紹介)

小学校 練馬区立大泉第二小学校、東大和市立第三小学校、大阪府立豊野町立光風台小学校、和光小学校・調布市立若葉小学校、能勢町立天王小学校、福岡県糸島市立南風小学校、浦安市東野小学校、板橋区立徳丸小学校、大阪府立関目東小学校、高知県仁淀川町立別府小学校、川崎市立大戸小学校、板橋区立徳丸小学校 他

中学校 世田谷区立桜丘中学校、世田谷区立芦花中学校、世田谷区立梅丘中学校、中野区立第五中学校板橋区立志村第五中学校、練馬区立光が丘第四中学校、愛知教育大学附属岡崎中学校、多摩市立青陵中学校、町田市立真光寺中学校、横浜市立藤の木中学校、鎌倉市立腰越中学校、能勢町立東中学校、名古屋市立宝神中学校、東洋英和女学院、世田谷区立桜ヶ丘中学校、和光中学校、Canadian International School,、ぐんま国際アカデミー、同志社中学校、松原私立松原第三中学校 他

中学・高等学校 尚綱学院中等高等学校、東京学芸大学附属国際中等教育学校、洗足学園中学校・高等学校、横浜雙葉中学高等学校、田園調布雙葉高等学校、聖学院中学校・高等学校、茗溪学園中学校・高等学校、加藤学園暁秀中等高等学校、桃山学院中学校高等学校、熊本マリスト学園中学校・高等学校、千葉国際中等学校・高等学校 他

高校 八戸聖ウルスラ学院高等学校、東京都立農芸高等学校・東京都立田園調布高等学校、東京都立国際高等学校、東京都立六本木高等学校、慶應義塾高等学校、神奈川県立大和西高等学校、浜松海の星高等学校、大阪府立松原高等学校、大阪府立能勢高等学校、立命館宇治高等学校、大阪暁光高等学校、立命館守山高等学校、桃山学院高等学校、佐塾高等学校、K international School、横浜雙葉高等学校、玉川学園高等学校、明治学院高等学校、京都市立堀川高等学校、大阪府立西成高等学校大阪府立住吉高等学校 他

大学・大学院 尚綱学院大学、ルーテル学院大学、テンブル大学、恵泉女学院大学、津田塾大学、文京学院大学、駿河台大学、青山学院大学、立命館アジア太平洋大学、法政大学、上智大学大学院、立教大学、上智大学、関東学院大学、桃山学院大学 他

専門学校 日本医歯薬専門学校

3 教材・書籍・DVDのご紹介

教材

児童労働シミュレーションカードゲーム 8,500円(税込み) 制作 フリー・ザ・チルドレン・ジャパン / 制作協力 フェアトレードくらぶ

児童労働者の人生をもとに作られた児童労働者の一生を体験することができるカードゲーム。子どもの権利条約も学べます。もし、あなたが家族と離れ1人で生きていくことになったら…。ゲーム参加者は、貧困地域で暮らす子どもになったつもりで、カードを引いていきます。カードには、子どもが遭遇する色々な出来事が書かれています。参加者は、そのカードに書かれている指示に従い、順々にカードを引いていきます。参加者はどんな人生を送ることになるのか…その結末は！？



【商品詳細】

■セット内容

- ・カードゲーム パネル：10枚 内容11枚、説明1枚
- ・カードゲーム カード：243枚
- ・使用の手引書
- ・ワークショップ振り返り用ワークシート例
- ・児童労働がわかるケースストーリー写真とデータ
- ・指導要領案
- ・子どもの権利条約資料

■対象年齢：小学生から大人まで幅広くお楽しみ頂けます。漢字にはすべてルビが振られています。

■適正人数：30人～

- ※カードの量や出方を調整すれば、少ない人数でも実施できます。
- ※30人以上の場合は、ペアやグループになって実施可能です。

もしもほかの国に生まれるなら 3,500円(税込み) ※2016年夏完成予定 制作 フリー・ザ・チルドレン・ジャパン

もしも自分が他の国に生まれるらどうなっているのか。日本人や先進国に生まれる可能性はどれくらいの割合なのか。この教材では、世界の子どもの教育・衛生・労働面などからみた統計に基づき、世界の縮図をカードで可視化し考えます。各地域の写真やケースストーリーをその後学ぶことで、具体的な子どもの事例を学ぶことができます。

【商品詳細】

- セット内容：フォトランゲージ資料 15枚、世界の子どもの統計データカード 40枚、各地域のケースストーリーと写真、使用の手引書、指導要領案、子どもの権利条約資料
- 対象年齢：小学生から大人まで幅広く活用いただけます。
- 適正人数：30名～ ※統計データをもとに割合を算出する表が入っています。参加人数に合わせてカードを必要分コピーして使用できます。

スピーチから考える子どもの権利条約 3,500円(税込み) ※2016年夏完成予定 制作 フリー・ザ・チルドレン・ジャパン

元児童労働者のスピーチと、国内でいじめ被害にあった子どものスピーチをもとに、子どもの権利条約を学ぶことができる教材です。スピーチを通じて児童労働者などについて理解を深めることができるとともに、子どもの権利条約については「権利カード」を使い、楽しく話し合いながら学べます。

【商品詳細】

- セット内容：子どものスピーチ&事例セット各3点（性産業で働かされていた子ども、元子ども兵士、国内いじめ被害者）、子どもの権利条約資料（子どもの権利条約冊子、シートとカード含む）、使用の手引書 ※生徒さんへの配布用に、子どもの権利条約冊子は1冊200円で別途販売しております。
- 対象年齢：小学生高学年から大人まで幅広く活用いただけます。
- 適正人数：何人からでも可

写真でのぞいてみよう-世界で働く子どもの生活- 3,500円(税込み) 制作 フリー・ザ・チルドレン・ジャパン

フォトランゲージとも言われる、様々な写真をもとに、参加型のアクティビティで人権教育ができる教材です。共感的な理解や想像力を高め、自分の持っている価値観にも気づくことができます。アジアを中心に、アフリカ、中南米で働く子どもの様子（FTCJの支援先の国々）をとらえた写真がセットになっています。



【商品詳細】

- セット内容：フォトランゲージ資料 15枚、補足写真：その子の住む家や水周り資料 10枚、使用の手引書、指導要領案、子どもの権利条約資料

※支援先の情報により枚数が多少前後することがあります。出来る限り最新の情報になるよう努めています。

対象年齢：小学生から大人まで幅広く活用いただけます

適正人数：1つの写真で8名程度

このほか、授業で活用できる映像を youtube で公開しています。
詳細はぜひ Web サイト (www.ftcj.com) をご覧ください。

書籍

学級文庫や授業の副教材として活用ください！
すべての書籍が子どもにも理解しやすい構成になっています。

僕たちは、自由だ！クレイグ少年の南アジア 50 日間の冒険 (原題：Free The Children)



著者：クレイグ・キールバーガー 翻訳：佐光 紀子 出版社：本の泉社出版 価格：1,800円 (税別)

FTC 創設者の 12 歳のクレイグ少年が、働く子どもたちの現状を知るために、南アジア 5 カ国を 50 日間旅した様子が描かれています。

児童労働について、ストリートチルドレンについて、彼らを支援する団体について、解決に向けて子どもにできることなど、とても細かく分かりやすく書かれています。児童労働問題をわかりやすく理解できます。

おすすめ対象：小学校中学年～

世界を変える！みんなの力 Me to We



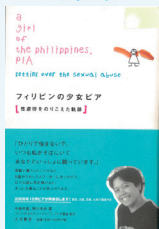
著者：クレイグ & マーク・キールバーガー共著 翻訳：佐光 紀子 出版社：柏書房刊 価格：1,900円 (税別)

FTC の創設者クレイグと兄のマークの共著「Me to We」の日本語版です。アメリカやカナダでベストセラーになり、多くの世代に親しまれ読まれています。

内容は、クレイグやマークの FTC をはじめたきっかけやその後の活動と、世界の人々へのメッセージが凝縮されています。Me (自分) から We (みんな) へ、視点のチェンジで、世界を変える一歩を踏み出した仲間の身近な事例が多く、みなさんの熱い思いを後押ししてくれます。

おすすめ対象：中学生～

フィリピンの少女ピア～性虐待をのりこえた軌跡～



著者：中島早苗、野川未央 出版社：大月書店出版 価格：1,400円 (税別)

FTCJ のパートナー団体のフィリピンの NGO「ブレダ基金」に所属するピア・コーベラの半生を描いた本です。なぜ、子どもが働かなければいけないのか、児童労働の現状、児童労働から解放され尊厳を取り戻すまでについて、実在するピアの生涯を通じて知ることができます。

両親と暮らしたことがなく、8 歳からセックスワーカーとなったピア。「ひとりで悩まないで。いつも私がそばにいてあなたといっしょに闘っています」彼女からのメッセージに耳を傾けると、大事なことがみつかるはずです。

おすすめ対象：中学生～

チャレンジ！キッズスピーチ 編集：フリー・ザ・チルドレン・ジャパン 出版社：大月書店出版 価格：全 3 巻 6800円 + 税



第 1 巻：できるよ！はじめてのスピーチ 1800円 (税別)
第 2 巻：平和をもとめた子どもたち 2500円 (税別)
第 3 巻：子どもの権利をうたげる 2500円 (税別)

「もっと、問題や思いを伝えたい」「世界の現状をみんなに知ってほしい」と熱い思いを行動に移したい！そんな方に自信をもっておすすめする「スピーチ力」を高める本です。

1 巻には FTCJ が活動を通じて培ったスピーチに関するノウハウがぎゅっと詰まっています。
2, 3 巻では世界を変えた子どもたちのスピーチ事例を英語や日本語で読み、その背景も学ぶことができます。

活動だけでなく、発表の場や自分の意見を伝えるさまざまなシーンで役立つ実用的な情報が満載です。この本で「言葉で伝える力」にみがきをかけて、より良い世界のために声を上げていきましょう！

おすすめ対象：小学校高学年～

チャレンジ！キッズスピーチ 副教材

著作：フリー・ザ・チルドレン・ジャパン 価格：4500円 (税込) 媒体：データ DVD-ROM

英語での子どもや若者によるスピーチを動画で収録。各スピーチには英語字幕・日本語字幕・字幕なしの映像を用意しています。授業で取り入れるための指導案付き。弁論大会の準備や英語の教材、人権教育としてもご活用いただけます！

DVD



We Day (日本語字幕版/オリジナル版：英語音声) スクリプト付 価格：各 5,000円 (税込み)

字幕翻訳：FTCJ 著作：Free The Children International 時間：43分

We Day とは、FTC の信念でもある「Me という自己中心的な小さい考えから、We という大きな世界の一部分と考える」という事について伝え、より良い社会をつくるため行動を起こそう、と参加者の若者にやる気を起こさせるイベントです。FTC 創設者のクレイグをはじめとして、ミュージシャンや俳優、政界関係者など多くの著名人が出演し、子どもを励ますメッセージを発信します。



It takes a child - 児童労働の実態を探るクレイグ少年の旅 - (日本語字幕版/オリジナル版：英語音声)

監督：Judy Jackson 制作：Judy Films 制作年：1998 字幕翻訳：FTCJ 著作：Free The Children International 時間：56分 価格：各 2,000円 (税込み)

元児童労働者で活動家だったイクバル少年の殺害事件を新聞で知ったクレイグの生活は一変。わずか 12 歳で児童労働に従事する子どもたちに直接会い、生の声を聞くために、南アジア 5 カ国をまわる 7 週間の旅に出発した。その旅で出会った子どもたちによって、クレイグは多くを学び、働く子どもたちが置かれている現状を彼らの代弁者として社会に伝えることが自分の使命と感じ、以後情熱を持って活動を続けていくことに。本 DVD は、ドキュメンタリーとして非常に高く評価されており、UNESCO 賞、New York City Film Festival 金賞を受賞した。

FTCJ テレビ放映映像集 価格：無料 ※但し、送料等 300円。

- 奇跡を起こした少年 20分 アンビリーバボー
- ある少女の訴え～フィリピンの子ども活動家ピアと日本の子ども達との交流～ 8分
- チョコロ 首都圏ネットワーク 5分
- カナダ人活動家の訴え 12分
- 世界一受けたい授業 FTC 代表 クレイグ出演分
- 世界一受けたい授業 元少年兵ミシェル出演分
- NEWS ZERO Natalie Portman
- ZIP! We Day 紹介
- NHK ほくは世界のためにパンを焼く！ ※映像リストは 放映後順次追加予定

FREE THE CHILDREN

4 生徒の「もっと国際協力したい！」 をサポートする

活動のモットーは、「好きなこと×国際協力」。募金活動だけでなく、音楽や演劇・映像制作・スピーチなど自分の特技を活かして、活動しよう！

個人単位の参加が
おすすめ！

海外スタディーツアー

開発途上国を訪問し、支援地域でボランティアをしたり、子どもたちと交流をします。支援先のコミュニティでホームステイをしたり、NGOの活動について学んだり、フェアトレード生産者に会いに行く年もあり、楽しいプログラムもりたくさん！中学生から参加できるプログラムとなっており、中高生や大学生にとっては国際協力について考えることができる充実した楽しい旅となっています。

※行先によりプログラム内容が変わりますので詳細をご確認ください。
※毎年春休みと夏休みに開催を予定しています。

2015年度実績：春休み フィリピン、夏休み インド（5泊～6泊程度）
※学校単位でのスタディーツアーも開催いたします。ご相談ください。



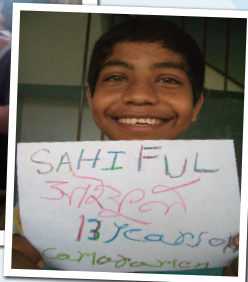
テイク・アクション・キャンプ

「社会問題に対しアクションを起こすにはどうすればいいか？」そんな意識を持つ海外の中高生が集まるテイク・アクション・キャンプ。カナダでは全世界の中高生と英語で、日本では全国の小中高生と日本語で、社会の課題について共に学び、考え、話し合います。このキャンプが、「世界を変えるための第一歩を踏み出したい！」という生徒の思いをカタチにすることを約束します。
※毎年春休みと夏休みに開催を予定しています。

2015年実績：春休み 日本（千葉県）4泊／夏休み カナダ（トロント）9泊



クラス単位の参加が
おすすめ!



文通プログラム

文通プログラムでは、FTCJの支援先の地域の子どもとお手紙のやりとりができるプログラムです。

学校へ行きたい、おいしいご飯を食べたい…何をするのにもお金がかかります。だから貧しい子どもたちにとって、みなさんの寄付は本当に嬉しいもの。でも、せっかく寄付をするなら、支援先の子どもと交流しませんか? 「支援者と被支援者」の関係をかえて、「ともだち」になりませんか? 手紙を交換して、友達になって、もっともつと相互の理解を深めていきませんか?

参加費は12,000円(月々1,000円)で、参加は1年単位です。

文通プログラムお申込み方法

WEBサイトより申込フォームを送信してください。フォームの送信が完了したら、参加費のお振込をお願いいたします。(右記QRコードからWEBページにアクセスいただけます。)
またはインターネットで「文通プログラム ftcj」と検索してください。

決済方法:【1年ごと(半年)でのお申込み】銀行振り込み・郵便振替またはクレジット決済(VISA・Master)
【継続でのお申込み】クレジット決済(VISA・Master)または自動引落(一括で引き落としとなります。)



フェアトレード商品委託販売

FTCJで取り扱うフェアトレード商品を学校の文化祭、地域のイベントやバザーなどで販売することができます。お申込みいただいた方には活動のヒントや販売マニュアルなど商品販売時に活用できる冊子をプレゼントしています。

※フェアトレードとは: 商品を生産者から生産コストや働きに見合った正当な値段で買い取る公正な貿易のことです。
FTCJではフィリピン・モンゴル・インド・ケニアから商品を仕入れています。



フェアトレード商品委託販売お申込み方法

WEBサイトにて注意事項などをご確認の上、フォームからお申込みください。(右記QRコードからWEBページにアクセスいただけます。)
またはインターネットで「文化祭やイベントでフェアトレード商品を販売しよう」と検索してください。



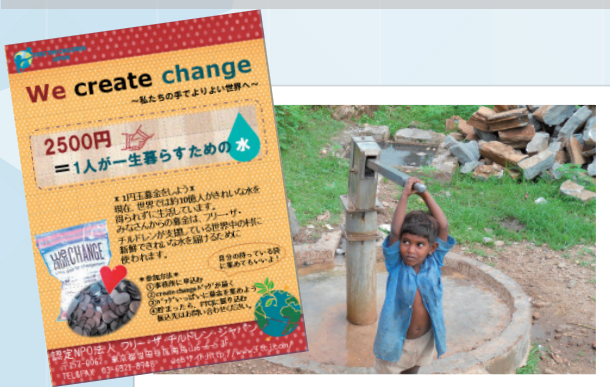
1円玉募金キャンペーン

～ We Create Change! きれいな水を届けよう! ～

現在、世界中では10億人もの人がきれいな水を得られずに厳しい生活を強いられています。また、今までに世界中の女性が水を取りに行く時間を合算する2億時間以上になり、井戸のない地域ではそのことが原因で女の子が学校に行けないことも多くあります。

日本円で約2,500円につき、1人に対して一生暮らすために必要な水を供給できます。

お申込みいただいた方には1円玉募金キット(ポスター、1円玉を入れる袋)を無料でプレゼント!



1円玉募金お申込み方法

WEBサイトより詳細をご確認の上フォームからお申込みください。(右記QRコードからWEBページにアクセスいただけます。)
またはインターネットで「1円玉募金 ftcj」と検索の上、お申込みください。

※クラス単位で参加された場合、感謝状をお送りしております。

※1円玉募金で集まったお金はインド・ラジャスタン州の水・衛生支援事業のために使われます。(2015年12月現在)

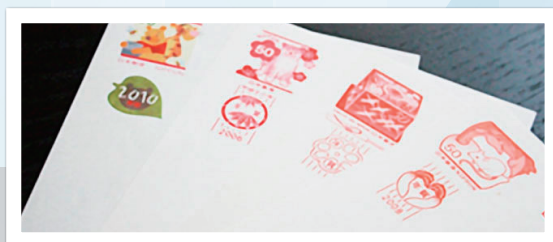


書き損じはがきを集める

書き損じはがきや切手、商品券など使わない金券などを集めています。換金したお金は、児童労働など貧困に直面する人々の自立支援や国内の子どものエンパワーメントにの活動に役立てられます。

書き損じはがき 参加方法

クラスや学校で募集を行い、集まった物資をFTCJ事務局までお送りください。
※クラスや学校単位で参加された場合、感謝状をお送りしております。



【活動紹介】高校生が、 モンゴルにゲル図書館を設立！



せがわ あいき
瀬川 愛葵さん

(加藤学園暁秀高等学校
1年生の時に活動を開始。)

FTCJ 図書館ができて色々な本を
友達と読むことができるようになって、
とっても楽しいです。
本を読むのは大好きです！



▲現地のゲル図書館を訪問する瀬川さん

16歳の私に「将来」ではなくて「今」行動を起こし、
世界平和に貢献することができるかと教えてくれた。

16歳のときにフリー・ザ・チルドレン（以下FTC）に出会ってから、私の人生は大きく変わりました。FTCは私に、「将来」ではなくて「今」行動を起こし世界平和に貢献することができることを教えてくれました。「大人にならないと世界に大きな変化をもたらすことはできない」という概念が覆された瞬間でした。

「過酷な生活を強いられている子どもたちが世界中にたくさんいるのに、私はこのよ
うなぬくぬくとした環境で生きていいのだろうか」と自分に問いかけるうちに、
FTCの活動に情熱を注ぐようになっていました。そして、学校のクラスメイトや後輩た
ちと共に、モンゴルの子どもたちのためにゲル図書館を建てることを決めました。

リーダーとなって様々な立場や考えの人々と
交渉をすることは、16歳の私にはとても大変な
ことでした。それでも試行錯誤を繰り返しながらも、仲間と共に2年間募金活動を続け、約74
万円の善意の資金をいただきゲル図書館を建
てることができました。

私はFTCの活動をきっかけに、世界の児童労働や児童買春などの問題に興味を持ち、一生を
かけてすべての子どもたちが安心して幸せに生
活できる世界の実現に貢献していきたいと思っています。

今の私の原点を刻ませてくださったFTCに心から感謝です。



▼年間のべ17,800人の
子どもたちが利用する
ゲル図書館が完成（2008年）



▲ FAX 専用 お申込書

※このお申込書をコピーして
必要事項をご記入の上、ご返送ください。
WEB サイトからもお申込みを受け付けて
おります。

お問い合わせ内容に☑を入れてください。担当者より折り返しご連絡いたします。
万一1週間経っても連絡がない場合は、お手数ですが電話もしくはメールにてご連絡いただければ幸いです。

出張授業・講演会の申込をする

→ご希望の日時：(第一希望) 月 日 () 時 分～ 時 分
(第二希望) 月 日 () 時 分～ 時 分

対象の学年： 人数：

ご希望の講演内容・テーマ：

教材・書籍・DVD を購入する

()

詳しい説明を希望する () について

寄付の方法について知りたい

その他 ()

学校・法人名：

.....

部署・役職名：

.....

お名前：

.....

住所：

.....

電話番号：

.....

メールアドレス：

.....

備考：

個人情報をご本人の意思に反して収集、利用することはありません。個人情報の収集は、収集目的を明確に定め、利用者からの問い合わせ窓口を明示した上で、当団体が行う活動の範囲内でその目的の達成に必要な限度に応じて行ないます。また、収集した個人情報は、当団体が行う活動に必要な範囲において利用します。

FAX 返送先：03-6323-6504

認定 NPO 法人フリー・ザ・チルドレン・ジャパン

(Free The Children Japan)

〒157-0062 東京都世田谷区南烏山 6-6-5 3F

03-6321-8948 ☎ 03-6323-6504

✉ info@ftcj.com 🌐 <http://www.ftcj.com>



**WE
CHANGE
THE WORLD**

学校でできる国際協力

**FREE THE
CHILDREN**

認定 NPO 法人 フリー・ザ・チルドレン・ジャパン

〒 157-0062 東京都世田谷区南烏山 6-6-5 3F

☎ 03-6321-8948 ☎ 03-6323-6504

✉ info@ftcj.com 🌐 <http://www.ftcj.com>

Supported by  日本 THE NIPPON
財団 FOUNDATION